

効果的な若年者へのたばこ対策について ～受動喫煙を減らすには～

本学ではタバコを吸っている学生が多い。そこで私たちは、タバコを吸っていない学生の健康を守るために受動喫煙の対策を提案する。

この対策は、非喫煙者がよく通る場所にある喫煙所の改良をしたものである。特に、換気に重点をおいて改良した。プラッツ前の喫煙所を対象に改良設計をした。

焼肉店のような換気扇

換気扇の吸引力

- ➔ 600 m³/h (5人で吸う場合を想定)

換気扇の本体の場所

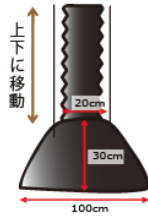
- ➔ 壁側
本体が傘についていると転落した際に危険
傘側には交換可能なフィルタをつける

換気扇の傘の大きさ

- ➔ 直径 100cm

傘の高さを変える仕組み

- ➔ 傘につながる管を掃除機のホースのようにし、傘を紐で吊り下げ、巻きあげたり下げできるようにする

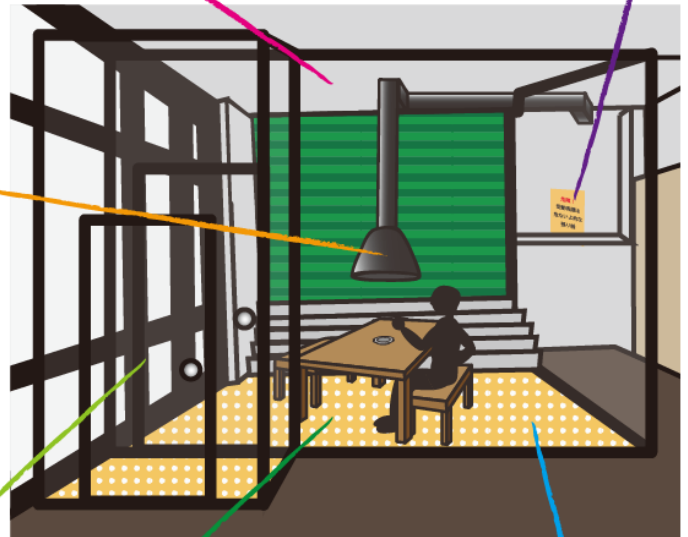


透明な壁

分煙しながらも
圧迫感のない喫煙所に

喫煙に関するポスター

今あるものよりも大きくて
目につきやすいものに



2重の出入口

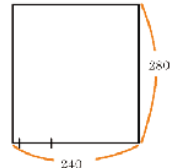
煙が外に漏れにくい

綺麗なタイルの床

きれいな場所は心理的に汚しにくい

喫煙所の広さ

約 7 m² (2.8m × 2.4m)
トイレ前に車いすが通れるスペースを確保する



現状

この喫煙所は壁で囲まれることなく、3つの換気扇で煙を排気している。結構離れた場所においても、今誰かがたばこを吸っているなどわかるくらい排気できていない。ポスターがせっかく貼ってあるのに剥がれかけているうえに、ヤで黄色くなって少し読みにくしい、字も小さい。障害者用のトイレの真ん前にある。全体の雰囲気としては大変暗い。照明として蛍光灯があるのだが、点灯していた記憶がない。食堂や売店が近く利用者も多いため、早急な対策が求められる。



このテーマは野々市町健康センター様より依頼を受けている。私たちが提案するのは以下のとおりである。

- ・ 分煙を進める
- ・ 喫煙所と非喫煙所はしっかりと分ける
- ・ 喫煙者も副流煙を吸わないために換気を行う
- ・ 喫煙所のモデル

金沢工業大学
2009年度 プロジェクトデザインⅡ
プロジェクト名：効果的な若年者へのたばこ対策について
～受動喫煙を減らすには～
クラス番号：IC302
チーム番号：4
チーム名：多體類
チームメンバー名：福岡 翔平 松田 友里 吉田 祐典
阿部 一裕 櫻沢 裕樹 神谷 優太
担当教員名：山川 武人